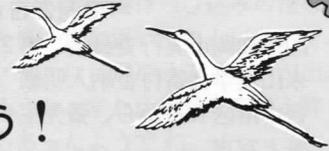




ENJOY ROTARY!



ロータリーを楽しもう!

会長 高橋良士 幹事 佐々木詰彦 クラブ奉仕 佐藤 衛 職業奉仕 忠鉢 徹 社会奉仕 齋藤 昭 国際奉仕 塚原初男 青少年奉仕 加藤 賢

出席報告:会員 87名 出席 59名 出席率 68.40% 前回出席率 79.17% 修正出席数 72名 確定出席率 87.50%

会長報告

高橋良士君

1 本日は8月第1例会でございますので、午前11時30分より本年度第2回定例理事会を開催致しましたのでご報告申し上げます。

- ① 本年度収支予算案の再確認を行いました。
- ② 第1回クラブ協議会を、8月22日午後5時より東京第一ホテル鶴岡で行います。
- ③ 鶴岡高専インターアクトは本年度会員がゼロで休会のやむなきに至りました。残念ながら本年度活動できますのは鶴岡工業高校のみであります。
- ④ 新入会員、小関正洋さんの所属委員会はクラブ会報委員会と決定致しました。

2 7月27日午後1時30分から市役所町議会におきまして、第3回国際交流推進協議会が開催され、委員の一人として(RCの代表)出席してまいりました。

鶴岡市は、長野県松本市と全国で2ヶ所、国際交流基盤整備都市の指定を受けましたが、鶴岡では未だ国際交流のあまり行われていなかった時期の昭和35年にNB市と姉妹都市提携を行い、更に最近では、民間レベルで庄内国際青年祭が継続的に開催され、庄内一円で国際交流が活発に行われている実績が認められた訳でございます。

います。

NB市との姉妹都市提携には当クラブ初代会長の故小花盛雄先生が大きな推進力となったことは周知の如くであります。

今回は

- ① 出羽庄内国際村の施設機能と内容
- ② 草の根の国際交流ネットワーク整備について協議を行いました。ロータリーの立場から交換学生、G.S.E.、ロータリー財団及び米山奨学会について国際交流の実績を述べ、ロータリーのPRをして広報の一役を担ってまいりました。

今後この計画の策定に当りましてはロータリーの持てる力を提供し、国際交流のオピニオンリーダーとして助言をしていきたいと思っております。

幹事報告

高田耕助君(佐々木幹事代理)

1 来信・通知

- ① 鶴岡市民憲章推進協議会常任委員会開催通知(8月9日)
- ② 新入会員情報セミナー案内(9月8日)
- ③ 同上、各クラブ補助金納入のお願い

ENJOY LIFE

法隆寺 夏季大学

風間真一

毎年7月26日から29日まで、法隆寺様で夏季大学が開催され今年で39回にもなる。私はご縁があって、昨年初めてそれに参加させて頂いて、今年が2回目である。

法隆寺山内の各寺院に分宿、四泊させて頂いて、早朝の勤行法話、午前は講義、午後は見学

等、夜は同宿の方々と語り、最終日は奈良大阪周辺の史跡見学で終了する。

日本史の曙、飛鳥・天平の時代から1300年余り、連綿としてそこに在る、金堂・五重塔やご仏像の間近に何日かを過し、聖徳太子様ゆかりのお話の数々を拝聴し、時間と空間を越えた御教えに接し、心身の清められる思いを新たにしていた。

エンジョイライフ

8月29日まで 10,000円

- ④ 国体鶴岡市実行委員会、第2回総会資料
- ⑤ 米山奨学会寄付金納入明細
- ⑥ 台中港区RCから、張先生へおくやみの手紙と写真
- ⑦ 酒田東RC会報
- ⑧ IAC年次大会案内状とお詫び

須賀川RC・I.A.C 委員長

2 例会変更

- ① 鶴岡西クラブ 納涼例会のために
日 時 8月4日(金) 18:30 点鐘

場 所 大山桜

登録料 5,000円

- ② 温海クラブ 7月31日(月)の例会は、
花火大会納涼家族会のために

日 時 8月2日(水) 19:00 点鐘

場 所 鼠ヶ関ビーチセンター

登録料 4,000円

- ③ 余目クラブ 納涼例会のために

日 時 8月9日(水) 19:00 点鐘

場 所 センチュリープラザ和心

登録料 4,000円

新会員スピーチ

水府流太田派と山形県の水泳

～カッパのざれごと～

矢口良行君



山形県の水泳についての記録は、当時山形自由新聞社と称していた(現在の山形新聞)報道記事よりも古いものは見当たらない。その発端となったのは、大正3年7月22日、荘内中学校主催の水泳講習会が開催されたことで

あり、要項は概ね次の通りであった。

- 会 期 7月27日～8月9日
- 会 場 西田川郡念珠関村(鼠ヶ関)
- 講 師 内田千尋
- 講習教目 水府流太田派永法、受講生103名
- 付添教員 田中達三、中村正平

したがって、山形県に水泳が導入されたのは、水府流太田派を以て最初であると考えられる。この水泳講習会は、夏休み中の学校行事の一環であり、東大農学部在学中の阿部耕治郎氏(大山出身 荘内中学17回)が同学部の学友内田氏を水泳師範に招き、自らも助手として水泳部草創の事にあたっている。荘内中学の水泳部の創部が山形県の水泳の始まりと考えられる。この事は今年7月に荘内日報に掲載された、桜田幸一氏の荘内中学と水府流太田派と題する記事とも一致しているところである。

続く年大正4年も同様の要領で講習が行われている。

大正5年7月24日、第3回水泳講習会が開かれ、

初めて水府流太田派師範内田正練氏の名を見ることが出来る。内田正練氏といえば、第3回極東オリンピック大会(大正6年東京芝浦塩水プール)で、230ヤード、880ヤードで優勝、大正8年のマニラ大会でも4種目に優勝、正に内田正練の独壇場であった時代である。

ところで内田千尋、正練という日本を代表するような立派な水泳人が一体どのような経緯で鼠ヶ関の寒村に來径したのであろうか。

当時荘内中学校出身で北海道大学の学生であった加藤文治郎氏が、阿部氏同様に千尋氏の高弟であり北大では正練氏と同期の学友であったという縁によるものと相察される。

次にこの大正5年という年は、更に別の筋道による水府流太田派が内陸部にも、もたらされた画期的な年であった。それはすなわち、次のような要項による水泳講習会が開かれたからである。

大正5年7月27日から8月8日、山形自由新聞社主催の臨海水泳講習会が吹浦海岸で開催された。参加者101名とあり、山形中学38名(山中水泳誌龍永には60名とある)新庄中学校15名外となっている。

更に、山中卒業生として国井彦十、小笠原守一の名も見える。講師は水府流太田派師範、森真吾とあり、京都大学法学士の肩書の人であった。引率者として、大石山新主筆、三根円次郎山中校長の外田中至誠堂院長等、錚々たる人物が名を連ねる程の水泳講習会であった。ちなみに少々横道にそれることもあるが、当時の交通事情や風俗等の参考にと記事の一端を抜き書きしてみると、

☆ 汽車賃 山形一酒田間 1円52銭

出迎え案内、山新酒田支局員が酒田駅に出迎う。その後陸路（徒歩にて）防風林にそいて行き5時間余りにて現地宿舎、吹浦の海禅寺に到着。

水泳の服装、水泳帽（赤・白）と禪着用のこと。サルマタ越中は絶対に排斥す。木綿7尺をもって禪となしその端を腹部に捲回し置くを可す。

会費 1日学生 1人30銭（3食付、含雑費）一般人40銭……

8月8日、吹浦から藤崎村海岸まで約8Kの遠泳行が行われ、参加者29名中完泳者7名にして着順は次の通り。

- | | |
|----------|----------|
| 1位 松田正夫 | 2位 新関新八郎 |
| 3位 佐藤健吉 | 4位 高橋北雄 |
| 5位 佐々木勝美 | 6位 阿部作弥 |
| 7位 石垣信。 | |

遠泳出発前の用意

- ① ワゼリンを睾丸に塗擦する。
- ② 腹部に練り辛子を塗付する。

第2回も同様山新主催、月会場の講習会は、大正6年7月25日～8月9日迄であったが、講師はやはり水府流で師範は藤江孝（山中の記録では藤江潔となっている）という人で京都大学の医学士の肩書で浜名湾の水泳師範であった。（内田正練も浜名湖 荘内日報を参照）以上が山形県庄内海岸にほとんど前後して招来した二筋の水府流太田派である。その後庄内では鶴中水泳部の卒業生達が内田正練の流れを堅持して、斎藤忠雄、佐藤貞次郎、羽根田梅太郎、大久保亀次郎氏等の名手を輩出し庄内はもとより、内陸の寒河江中学校にも師範を派遣（大正12年～昭和3年頃まで）する程の隆昌を極めたのであった。ここで羽根田梅太郎氏について一言述べる。

羽根田氏は、水府流太田派の師範であるが、彼こそは山形県人として始めて極東オリンピック大会に出場し、1マイル自由形で優勝した選手である。（大正10年上海大会・27分16秒の記録は前回の松沢一鶴の優勝記録を2分20秒も短縮した記録であった。一方、京都乃至は浜名湖からの流れを汲む山形中学校でも高橋北雄、志田元秀等の泳人が後輩の指導に当り大正9年頃になるとそれまでの吹浦から由良海岸に移し、山中独自の水泳合宿が行われた。ここで又、一寸高橋北雄氏について述べると山中時代吹浦の講習会で水府流の手ほどきを受けたことは前述の通りであるが北大の農学部在学中、今度は同学部の先輩に当る内田正練氏と回り会い小樽の塩谷の合宿で指導を受けていたことがわかっている、その頃から飛び込みが得意

だったらしく、氏の後輩達は飛び込みの指導が峻烈であったことを一様に思い出すという。そんな伝統で山中のプールには飛び込みプールが出来たのではないだろうか。また氏は号を空山と称して尺八の名人でもあったようです。……

さて、話の流れを本流に戻すが、水泳ぎといえは水府流を指した時代も大正の末期からはクロールを主とする近代泳法の導入と急速な普及により競技会の時代に転換したことは今更述べるまでもない。あとは戦前と戦後を画して、殆ど廃絶に等しい状態になってしまったのである。鶴岡は昭和33年まで、ただ県内にも1箇所、その残燼がある。寒河江に中学水泳部に淵源する「水交会」がそれであり、大正12年初代師範斎藤忠雄（鶴中出身）からの水府流太田派教目を伝承し続けている。その起因は鶴中から東京高等師範学校体育科（専門は剣道）へすすみ寒中創立の大正10年10月に着任された大川庸介先生のお力によるものである。寒中が創立して3年目の大正12年に水泳部を作ろうとする気運が盛り上がり大川先生が母校の鶴中の水泳師範、斎藤氏を招いて水泳の講話拜聴しその夏、由良で合宿をしたのが水泳部創設であった。その後、寒河江中学はプールが完成するまで（昭和39年）最上川の岩鼻水泳場を練習場とし、毎年夏は鼠ヶ関の鶴中の合宿と合同練習して、内陸部では隆昌を極めた時代があった。最高時は寒中の水泳大会が岩鼻水泳場で行われた時は寒河江町民をはじめ、町中のきれいどころが全員集まってヤンヤの声援を受けたとのことである。小生の寒高水泳部在籍中は衰微の時代でそのひとかけらもありませんでした。

尚、昭和22年8月水府流太田派4代家元本田存氏を寒河江にお迎えして泳法を具に見て戴き御教示いただいております。

新会員紹介

庄司嘉男君

氏名	小関正洋君
生年月日	昭和13年12月5日
自宅	鶴岡市家中新町18-20
職業	山形銀行 鶴岡支店長
家族	妻 衛子様 S17.12.19生 長女 良子様 S43.3.6生 次女 美千子様 S45.11.24生 三女 紀子様 S55.3.22生
略歴	山形大学文理学部経済学科卒業
趣味特技	バドミントン テニス

新会員挨拶

小関正洋君

ただ今ご紹介にあずかりました山形銀行鶴岡支店長の小関でございます。



大変名誉あるロータリークラブの一員に加えて頂いて光栄に思っております。前任者の山本同様ご交誼の程よろしく願いたします。

私は昭和13年12月生まれでございますが、生まれた所はジャワ島のスラーバヤシというところ。でも両親とも日本人ですのでよろしく。

3才の時までしかいませんので記憶にはございません。あとは山形市の育ちでございます。銀行に入ってからは新潟や仙台の経験があるのですが、ここしばらく山形市内に勤務しております。直前は支店部というところおりました。内陸の方からまいりますと庄内の空は広く明るく感じられます。鶴岡の町は歴史の重み、ゆかしさを感じずたたずまいで、素晴らしい町だなと感じています。

尚、まもなく紅花国体とか平成4年の庄内空港の開港等ひかえまして当鶴岡の町も新たな転機を向かえようとしているのではないかと思います。私も皆様のご指導を受けながら、微力ながら精一杯がんばりたいと思っておりますのでよろしく願いたします。

委員会報告

出席委員会

板垣俊次君

- ・年間皆出席 富田利信君
- ・7月 100%以上出席 3名
- 200%…高橋(良)君
- 175%…佐々木君 150%…新穂君
- ・7月100%出席
- 阿蘇君 他51名

親睦委員会

中沢進君

- ・8月会員誕生
- 阿部信矢君 ・ 園部実君
- 庄司嘉男君 ・ 川上栄樹君
- 小松稔君 ・ 三井徹君

三井賢二君

- ・8月奥様誕生
- 藤川一子様 ・ 吉野英子様
- 阿蘇幸子様 ・ 三井章様

スマイル

藤川享胤君 塩田先生が亡くなられて奥さんから皆さんへ香典返しという形でクラブに預っておりますが先生に甲問に行かれなかった方がご遠慮してもらっていかれず10いくつ残っているそうです。奥さんの方からぜひもらって下さいと改めて言われましたので

高田耕助君 暑いさなか突然に代行をいわれまして、早く無事に終わることを祈って

荒井宏明君 先日の日曜日に6ヶ月ぶりに家族孝行をし鳥海山5合目まで車で行き、見晴らし台まで必死の思いで登って参りました。

◆ アーレン スピーチ ◆



私のアクティビティを紹介します。

7月9日から藤川さんの家にいます。とても楽しいです。気持ちすごくいいです。夏休みは7月25日から今月の25日までです。この間とても忙しいです。

2日前から家族と湯野浜に行っています。日に焼けてちょっと痛いです。今月の7・8・9日福島へ行きます。インターアクトクラブの会議のためです。7月11日佐藤元伸さんご夫妻と一緒に四国に行きます。楽しみにしています。佐藤さんご夫妻に感謝しています。9月2・3日は蔵王に行きます。アメリカの留学生と合うためです。楽しみにしています。

22日(火)のプログラム予定

納涼例会